

令和5年度 産業労働局農林水産部森林土木優良工事等

【件 名】	城山治山施設機能保全工事	【事務所名】	東京都森林事務所			
【工事場所】	東京都あきる野市戸倉地内	【受注者名】	有限会社 井上土建			
【工 期】	令和5年10月13日～令和6年3月13日	【主たる技術者名】	監理技術者 井上 北斗			
【工事概要】 令和元年10月の台風19号により斜面崩壊が発生し、崩土が下流部に流れ込み被害が発生した。崩壊地を山腹基礎工により復旧することで、下流部への被害を防ぐ。 【表彰理由】 新工法（EPM工法）の施工管理を適切に行い、植生の回復に良好な成果を残し、技術研修の実施に寄与した。施工地が文化財保護条例区域であったが、教育委員会等の関係者との調整を適切に行った。						
◇ 苦労した点 本工事は東京都でもあまり例を見ない新工法（EPM工法）での施行ということもあり、綿密な施工計画、安全管理、工程管理が必要でした。また現場においては、鉄筋挿入工、かご枠工等を冬場の中、全て人力により施工したことが大変でした。 ◇ 特に工夫した点 新工法（EPM工法）での施工において、起伏の激しい斜面でのアンカーの均等配置ができるよう、測量・調整を何度も行いました。また、植生マットの肥料袋を横一列に配置することにより、種子が平均的に浸透し、且つ景観の良い綺麗な施工ができました。 ◇ 現場で得られたやりがいや達成感 本工事の施工箇所は都文化財保護条例区域に指定されており、発注者及び都教育委員会、あきる野市と立ち会い・調整を重ね、作業を進めてきました。完了時に「綺麗に施工されている」とお声を頂いた時はやりがいと達成感を感じました。 ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対して伝えたいこと 建設業は自分達が作り上げた物が形として残り続ける仕事です。年々、働き方改革等により、働きやすい業種に変わりつつあります。ぜひ興味を持っていただきたいと思います。						
					植生マットの横列統一施工	
						
					かご枠工施工完了	新工法技術研修会への協力